



書道パフォーマンス 甲子園

第12回

汗と涙と墨まみれの青春

8/4（日）に迫る令和最初の
書道パフォーマンス甲子園。

予選の応募があった全国 106 校から、
本戦に進出できるのはわずか 20 校。

本市で開催される決戦に向け、
出場校の選手は今も
汗と墨（時々、涙）まみれになりながら、
書と夢に向き合っています。

書道パフォーマンス甲子園とは



まちおこしに立ち上がった三島高校の書道部員。日本一の紙のまちならではのアイデアで、音楽に合わせて踊りながら大きな紙に歌詞を揮毫し、市内のイベントで披露したのをきっかけに始まったのが「書道パフォーマンス」です。平成20年に「書道パフォーマンス甲子園」として大会の歴史が川之江の商店街から始まり、書道パフォーマンスは瞬間に本市から全国へ広がっていきました。全国で唯一の書道パフォーマンスの日本一を決める戦いが、今年も伊予三島運動公園体育館で繰り広げられます。

市民と、書道パフォーマンス甲子園

さまざまな形で多くの市民に支えられている書道パフォーマンス甲子園。第12回大会を前に、長きにわたり大会をご支援頂いている協賛企業、商店街で開催されていた時代に出場した元選手、そして裏方として多くの選手と接してきたボランティアの3名にお話を伺いました。



協賛企業として、保護者として
井原 和彦 さん
(カクケイ株式会社 代表取締役会長)



第2～4回大会に出場
寺尾 つむぎ さん
(三島高校書道部 OG)



第3回大会から運営に携わる
石川 雄一 さん
〔(公社)愛媛県紙パルプ工業会事務局長〕

企業としてだけでなく、選手の保護者の一人としても大会を応援してきました。第7回大会で三島高校が足で書く斬新な演技を披露し、優勝したことは今でも忘れられません。娘が高校を卒業した今でも毎年会場で観戦していますが、書道やパフォーマンスのレベルが年々上がっていると感じます。会場でしか味わえない感動と迫力は、言葉では表現できません。より多くの方に、会場に来て味わってほしいです。

各業界のイベントでの揮毫、練習用紙のご提供など地域の皆さまに支えられた書道部時代でした。足の裏に墨が染みついてしまうほど練習に明け暮れましたが、書道パフォーマンス甲子園という舞台で優勝するため共に青春を懸けた仲間や顧問の先生には今でも感謝しています。毎年新しく進化し続けている中で、今後も、選手一人ひとりに光が当たる大会であってほしいと願います。

裏方として、出番を控えた選手の誘導に携わってきました。演技前の舞台裏は、逃げ出したくなるほどの緊張感に包まれますが、選手に少しでもリラックスしてもらえよう、うちわで選手をあおいだり、声をかけたりしています。演技後に涙しながら舞台裏に戻ってくる選手の姿は、毎年目にする光景とはいえ、感動します。高校生が生み出す熱いドラマを今年も楽しみに、裏方として私もまた大会に臨みます。

高校生が全青春を懸ける演技をぜひ会場で

第12回書道パフォーマンス甲子園

開催日

8/4 日

スケジュール

9:00 開場 **入場無料**
9:30 開会式
10:15 演技開始

場所

伊予三島運動公園
体育館
中之庄町 1665-1

詳しくは

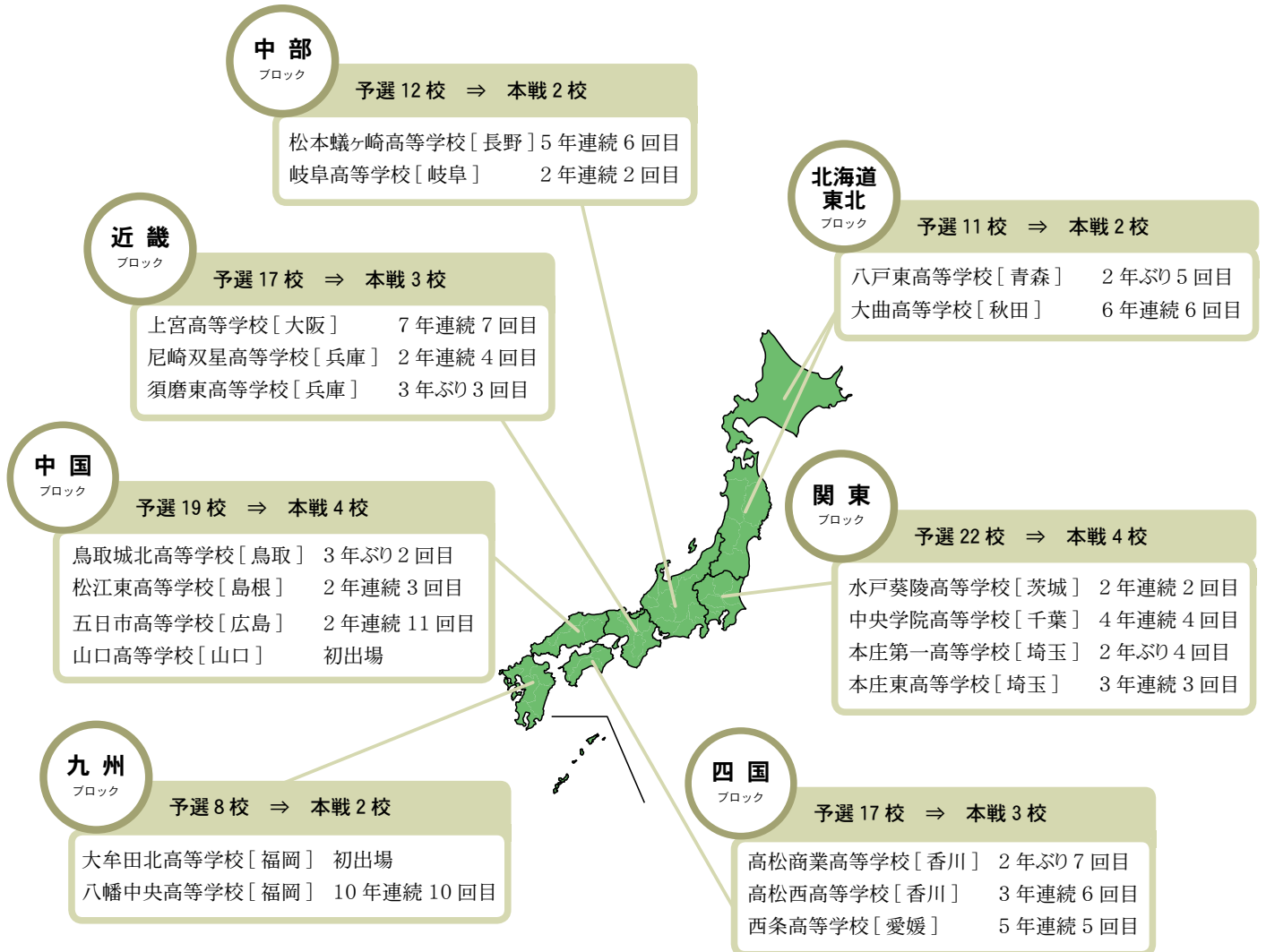
大会ホームページ
<http://shodo-performance.jp/>

書道パフォーマンス甲子園



第12回大会本戦出場校について

35都道府県106校の予選申込みから幕を開けた第12回大会。作品写真と演技動画による審査を通過し、本戦に出場できるのはわずか20校です。各地方ブロックの予選申込校数により、ブロック別の本戦出場校数が決定。激戦を勝ち上がり、本戦への出場権を手にした20校を紹介します。



初出場校の紹介



山口県立
山口
高等学校

はじめまして！山口県立山口高等学校です。今までずっと夢見てきた本戦の舞台に立てることを心から嬉しく思います。私達はこれまで、先輩達から受け継いだ『品格を失わず、エネルギー溢れる書道パフォーマンス』を目指して、全員が心を一に練習を重ねてきました。一画一画を大切に、美しさと強さを感じられる書と動きで、私達の力を100%発揮し、書道のすばらしさをみなさんに伝えられるよう精一杯がんばります。



福岡県立
大牟田北
高等学校

こんにちは。私たち大牟田北高等学校書道部は「書道・感動・仲間作り」をモットーに活動しています。書道パフォーマンス甲子園予選の初参加は平成26年度九州ブロック第3位から始まりました。予選5度目の参加で、念願の全国大会出場ができ、本当にうれしいです。作品のテーマは「This is me」です。青春を駆け抜ける等身大の私たちをどうぞご覧ください。